



看護専門学校 取り組み

教育姿勢

ソフィア看護専門学校では「S O P H I A」の頭文字から始まる6つの言葉を学校の教育姿勢としています。

S	Smile & Service	いつもほほえみを絶やさず社会に貢献する姿勢
O	Open-minded	広い心を持つ姿勢
P	Partnership	人と協力する姿勢
H	Honor & Healing	誇りとともに、いやしの技を持つ姿勢
I	Interest	物事に興味・関心を持つ姿勢
A	Action & Achieve	活動し、物事を成し遂げる姿勢

医療現場での実習

授業では、3分の1以上が実習となります。実習は蒲郡市民病院、蒲郡厚生館病院のほか、市内の老人保健施設や保育園などさまざまな施設で行います。地元で実習を行うため、地域に根ざした看護を学ぶことができます。

ボランティア活動

社会貢献の精神を育むため、積極的に地域のボランティア活動に参加しています。



明日の医療を担う豊かな人間性を育むために

ソフィア看護専門学校では、単に看護師を養成するだけでなく、かけがえのない生命に対する畏敬の念や、一般社会人としての人間性と良識を育むことに重点を置いて教育を行っています。

今後も、広い見識と叡智えいちを持ち、積極的に地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師の育成をめざします。

平成22年度入学生を募集 第二次入学試験を実施します

出願期間 3月8日(月)～19日(金)

試験日 3月23日(火)

募集人数 若干名

受験資格 ①高等学校を卒業ま

たは平成22年3月に卒業見込みの方 ②高校卒業と同等以上の学力があると認められた方(※平成22年度本校入学試験を受験した方は除く)

※詳しくは、ホームページまたは直接ソフィア看護専門学校へ。

「看護観を見つけ、そして成長へ」

ソフィア看護専門学校 3年生

入学から半年が経ったころ、実習で緊張しながら初めて患者さんと出会いました。

それから2年が経った今年、終末期の実習で、大腸がんが肝臓と肺に転移している患者さんを受け持たせていただきました。その患者さんは痛みが強く、呼吸をすることも苦しい状態でした。私は患者さんが何を望んでいるのか分からず、何もできない自分に無力感を感じました。それでも倦怠感や痛みを和らげるため体をさすったり、足浴をしたり、患者さんのつらさを軽減したいという思いで一生懸命そばに寄り添いました。

しかし、患者さんは日々状態が悪化し亡くなられました。亡くなられたのちの表情はとても安らかでした。その表情は、援助のときに少しだけ見せてくれた穏やかな表情と同じでした。

その時、今まで自分がしてきた援助を通して「つらいですね」「頑張りましたね」という私の思いが患者さんに伝わっていたと感じました。

人が亡くなるということ、生きるということ、看護師を目指していなかったらこれほど命について深く考えることはなかったと思います。そんな大切な命と向き合う仕事だからこそ患者さんが亡くなる場面に立ち会うことは避けられず、悲しくてつらい体験もします。一方で、新しい命の誕生に躍動感を感じたり、日々回復していく患者さんからいただく「ありがとう」という一言にうれしさを感じることもあります。

これからいろいろな患者さんや、自分が目指す理想の看護師に出会い、その関わりの中から、自分なりの看護観を見つけ、さらに人として成長していきたいと思っています。